

宮内 翔子

九州大学システム情報科学研究院
助教

高精度 3 次元物体認識を実現する Denoising & Mesher DNN の構築

§ 1. 研究成果の概要

2019 年度は、3 次元メッシュモデルに適したクラス識別器の検討を行いました。具体的には、大規模画像データセットである ImageNet で事前学習済みの Deep Neural Network である VGG-16 と、事前学習なしの Graph Convolutional Network (GCN) をクラス識別器としてそれぞれ用いた場合の 10 クラス識別実験を行い、識別精度を比較しました。実験の結果、3 次元メッシュモデルを入力とした場合、クラス識別器として GCN を用いた場合の方が、高い識別率が得られやすいことが分かりました。

